

2024 年度 発達科学研究所アーカイブス

2024 年度は以下の事業を行いましたので、ご報告いたします。

1. 公開研究会

(1) シンポジウム「就学前教育の過去・現在・未来：赤ちゃん学から見た教育（3）」

日 時：2024 年 5 月 18 日（土）10：00－12：30

基調講演：「赤ちゃん学から見た教育」開 一夫氏（東京大学教授）

話題提供：「三つ子の魂百まで」國藤 進氏（北陸先端科学技術大学院大学名誉教授）

話題提供：「DX 時代の幼児向けデジタル教材の今」野元伸一郎氏（(株)kiipl & nap）

場 所：C201／オンライン ZOOM

参加人数： 85 名（学内参加（学生・教職員）80 名、学外参加 5 名）

対面参加 67 名、ZOOM 参加 18 名

(2) シンポジウム「日本の小中学校英語教育のこれからを考える ―「中一英語の危機」

をどう乗り越える？―」

日 時：2024 年 9 月 28 日（土） 10 時～12 時(9 時 30 分開場)

講 師：橋本拓氏

加藤奈津実先生

場 所： C 3 0 1／オンライン ZOOM

参加人数：64 名（学内参加（学生・教職員）28 名、学外参加 36 名）

対面参加 22 名、ZOOM 参加 42 名

2. 新研究員のこれまでの研究報告とこれからの課題

(1) 2024 年度第 1 回宮城学院女子大学附属発達科学研究所新研究所員研究会

10 月 23 日（水）4 限

丹 洋一先生（教育学科児童教育専攻）

小中を一貫した数学教育と ICT 教育で大事にすべきこと

遠 藤 浩先生（本学教職センター）

定時制高校の現状と課題～宮城県田尻さくら高等学校の取組を例として～

(2) 2024 年度第 2 回宮城学院女子大学附属発達科学研究所新研究所員研究会

11 月 13 日 (水) 4 限

林 瑞紀先生 (生活文化デザイン学科)

障害者支援施設の建替えに関する事例研究

ー施設の個室化と生活単位の小規模化に関する研究ー

浅野 晴哉先生 (心理行動科学科)

潜在化しやすい性犯罪被害者への心理支援とその課題

3. 研究倫理講習会

(1) 四研究所合同研究倫理研修会 (ZOOM 開催)

日時: 2024 年 7 月 30 日 (火) 12:10~12:50

場所: オンライン ZOOM

「倫理の空白Ⅲ」研究活動のグレーゾーン 人文・社会科学編

講師: 長谷川麻子 (生活環境科学研究所所長)

4. 研究紀要発行

『宮城学院女子大学発達科学研究』第 25 号

5. 共同研究

(1) 「命の大切さを学ぶ防災・減災教育プログラムの開発と評価」

共同研究者: 西浦和樹・伊藤哲章・守渉・兪幬蘭・平川久美子

(2) 後期中等教育のカリキュラム改革と高大教育接続

ー「総合的な探究の時間」を通じた学修成果の分析ー

共同研究者: 清水 禎文、遠藤浩、池田和正、山本佐江

(3) オーストラリアの公立小学校で行われている immersion 教育 (カリキュラム全体

の半分が英語で、残り半分が日本語で行われる授業) の実践内容を研究

ー日本の小学校、中学校英語教育への転用を目的としてー

共同研究者: 藤崎さなえ、Jennifer Green